

原 案 作 成 団 体 名 : 0176 一般社団法人 日本鉄鋼連盟

対応国際規格が改正されている場合には、当該JISの「改正」の必要性を十分に調査検討してください(別紙5参照)。

全体 No.	個別 No.	書誌情報				原案作成団体			参照文書 (JSA調査結果)				
		規格番号	規格名称	最新公示		団体1	団体2	団体3	主務大臣	専門委員会	対応国際規格	引用JIS	引用国際規格
				種類	年月日								
1124	1	JIS G 0320	鋼材の溶接分析方法	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1127	2	JIS G 0558:2007	鋼の脱炭層深さ測定方法	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1128	3	JIS G 0561:2011	鋼の焼入性試験方法(一端焼入方法)	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1138	4	JIS G 0583:2012	鋼管の自動渦電流探傷検査方法	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1147	5	JIS G 1216	鉄及び鋼—ニッケル定量方法	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	x
1149	6	JIS G 1258-0	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第4部:ニオブ定量方法—硫酸りん酸分定法又は酸分定法—硫酸りん酸	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1152	7	JIS G 1258-4:2007	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第4部:ニオブ定量方法—硫酸りん酸分定法又は酸分定法—硫酸りん酸	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1153	8	JIS G 1258-5:2007	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第5部:ほう素定量方法—硫酸りん酸	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1154	9	JIS G 1258-6:2007	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第6部:ほう素定量方法—酸分解・炭酸カリウム融解法	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1155	10	JIS G 1258-7:2007	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第7部:ほう素定量方法—ほう酸トリメチル蒸留分定法	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1156	11	JIS G 1258-8:2017	鉄及び鋼—ICP発光分光分析—第8部:タンクステン定量方法—硫酸りん酸分定法	制定	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	◎	-
1178	12	JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1180	13	JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1182	14	JIS G 3118:2017	中・高温圧力容器用炭素鋼板	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1183	15	JIS G 3136:2012	建築構造用圧延鋼材	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1184	16	JIS G 3140:2011	橋梁用高降伏点鋼板	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1185	17	JIS G 3141:2017	冷間圧延鋼板及び鋼帯	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1186	18	JIS G 3191:2012	熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状寸法、質量及びその許容差	確認	2016/10/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1188	19	JIS G 3441	機械構造用合金鋼鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1190	20	JIS G 3442	水配管用垂れつき鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1192	21	JIS G 3444	一般構造用炭素鋼管	改正	2016/5/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1194	22	JIS G 3447	ステンレス鋼サニタリー管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1196	23	JIS G 3448:2016	一般配管用ステンレス鋼管	改正	2016/9/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1197	24	JIS G 3469	ポリエチレン被覆鋼管	改正	2016/4/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	x
1200	25	JIS G 3474	鉄塔用高張力鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1203	26	JIS G 3475	建築構造用炭素鋼鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1206	27	JIS G 3478	一般機械構造用炭素鋼鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1208	28	JIS G 3479	焼入性を保証した機械構造用鋼管	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1210	29	JIS G 3505:2017	軟鋼線材	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1211	30	JIS G 3506:2017	硬鋼線材	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1215	31	JIS G 4052:2016	焼入性を保証した構造用鋼鋼材(H鋼)	改正	2016/11/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1216	32	JIS G 4903:2017	配管用継目無ニッケルクロム鉄合金管	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1217	33	JIS G 4904:2017	熱交換器用継目無ニッケルクロム鉄合金管	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1820	34	JIS M 8711	鉄鉱石焼結—落下強度試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1838	35	JIS M 8712	鉄鉱石—回転強度試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1833	36	JIS M 8713	鉄鉱石—還元性試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1835	37	JIS M 8715	鉄鉱石ベレット—膨れ試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	◎	x	-
1837	38	JIS M 8717:2017	鉄鉱石—密度試験方法	改正	2017/3/21	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	-	x	-
1838	39	JIS M 8718	鉄鉱石ベレット—圧かけ強度試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-
1840	40	JIS M 8720	鉄鉱石—低温還元粉化試験方法	改正	2017/2/20	一般社団法人日本鉄鋼連盟			経産	金属・無機材料技	x	x	-

原案作成団体記入欄(1)													原案作成団体記入欄(2)		JSA公募への応募
規格改正必要性の有無													利害関係者意見		
a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)	h)	対応方針	令和3年度公示予定の種類	対応方針を決めた理由	対応国際規格整合予定	名称	主な意見		
-	-	-	-	●	-	-	-	12	改正	廃止・制定に伴う、引用規格の置き換えが必要であるが、追補2まで急務のため。	提無	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
●	-	●	-	-	-	-	-	11	改正	金属・無機材料専門委員会審議済	-	-	-		
●	-	●	-	-	-	-	-	11	改正	産業標準作成委員会審議済、申出準備中	-	-	-		
●	-	-	-	-	-	-	-	12	改正	2020年12月三者委員会審議予定。	-	鋼材規格検討会F02.02分科会	記載のとおりでよい		
●	-	●	-	-	-	-	-	50	廃止	現行附属書を、仕様実態も反映して集約、測定原理別に部編成として制定し、本規格は廃止し、直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	提無	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F02.03分科会	記載のとおりでよい		
-	-	-	-	-	-	-	-	11	改正	2020年12月20日公示予定。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	2020年12月20日公示予定。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	2020年12月20日公示予定。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	12	改正	2021年度申出予定。	-	鋼材規格検討会F01.01分科会	記載のとおりでよい。		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	申出準備中。	提無	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	12	改正	脱炭層深さの規定などを見直すため、改正する。	-	鋼材規格検討会F01.03分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	12	改正	製品規格で個別に規定している内容を、共通化するため。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	2020年8月申出済。	-	鋼材規格検討会F01.04分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	2022年度改正予定。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	2020年8月申出済。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	10	改正	2020年8月追補改正公示済。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	10	改正	2020年8月追補改正公示済。	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	50	廃止	新規格に移行するため2021年度廃止予定。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	金属・無機材料技術専門委員会審議待ち。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	金属・無機材料技術専門委員会審議待ち。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	11	改正	金属・無機材料技術専門委員会審議待ち。	-	-	-		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F01.04分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F01.04分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	26	確認	2022年鋼材規格検討会議、第三者委員会実施予定。	-	鋼材規格検討会F01.04分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	鋼材規格検討会F01.05分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	12	改正	2021年2月 原料規格三者委員会予定。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	26	確認	対応国際規格が改正作業中であり、その結果を待ってJIS改正作業を開始する。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		
●	-	-	●	-	-	-	-	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。	-	原料規格検討会M3分科会	記載のとおりでよい		